

24 浪生 第 372 号
平成 24 年 11 月 15 日

東京都 特別区区長会長 様

浪江町長 馬 場 有



東京都内に避難されている方への住宅及び生活支援に関する要望書

拝啓 ますますご清祥のことと存じます。

さて、当町では平成 23 年 3 月 11 日の巨大地震と津波、そして原子力発電所の事故による災害により、震災から 1 年 8 カ月が経過した現在でも、県内に約 14,500 名、県外に約 6,700 名、東京都内には約 1,000 名の町民が避難生活を余儀なくされており、避難住民への迅速かつ適切な対応が課題となっております。

現在、浪江町では全国各地に避難されている方への住民説明会を 10 月 22 日から 11 月 18 日まで 14 会場において、区域の見直し・新しい賠償基準・除染の進め方並びに町への要望等を開催しているところであります。

今回、11 月 7 日の東京会場で開催された住民説明会において、町民から要望がございました。

つきましては、多くの避難住民の状況を鑑み、特段のご配慮を賜りますよう、下記事項を要望します。

記

- 1 区営住宅等に入居者への入居期間の延長（平成 26 年 3 月 31 日まで）
- 2 避難住民同士の交流の場の提供